

Talend Enterprise Big Data 導入事例：株式会社インテージテクノスフィア様

マーケティングリサーチ国内トップ「インテージグループ」のIT部門がデータ活用プラットフォームのETLツールとして採用

導入による効果

- 1: データ分析・解析に必要な前処理（データの収集、整形）にかかる工数の大幅削減に期待
- 2: Map/Reduceジョブにより、Hadoop内に格納されたデータの効率的な変換を実現

Talend Enterprise Big Data カスタマプロフィール



社 名：株式会社インテージテクノスフィア
事 業 内 容：インテージグループの情報システム部門として、事業を支えるITの安定提供と新規事業開拓の研究。顧客向けには、課題に応じたシステム開発やITによる業務プロセスの改善により、マーケティング活動・業務効率化をサポートするサービスを提供
本 社 所 在 地：東京都西東京市谷戸町 2-14-11
社 員 数：453名（2015年4月1日現在）
U R L：<http://www.intage-technosphere.co.jp>

導入の背景

多種・大量のデータを素早く収集、整形、解析できる「データ活用プラットフォーム」の構築

Talendを導入するに至った背景として、IoT、オムニチャネル、オープンデータといったデータドリブン時代に対応した新たなデータ活用基盤の構築という命題に対して、その主軸機能の開発に注力するためにも、設計段階から周辺の構成機能についてはオープンソースを含め積極的に外部ツールを評価・活用していくという方針がありました。

インテージテクノスフィアは、お客様企業のマーケティング活動に不可欠なITサービスを提供するために、さらなるITの強化が必須であるという判断のもと、2014年4月1日に株式会社インテージのIT関連部門と、株式会社インテージ長野が事業統合し、インテージグループのITを支える新会社として発足しました。

これからのマーケティング・インテリジェンスおよびビジネス・インテリジェンスには、自社保有データだけでなく、オープンデータ（公開情報）や、ネットからのクロウリングデータ、センサーログ（IoT）など、多種・大量のデータを素早く収集・整形・統合し、解析を可能とする「データ活用プラットフォーム」の存在が不可欠であり、その基盤をベースとして新たな知見を得ていく必要があると考えています。

クラウドコンピューティング環境やNoSQL等、新しいサービスや技術が日進月歩の勢いで進化していく中で、データ連携・統合（ETL）を実現する仕組みに至るまで自社で開発・保守していくことはもはや考えられず、「様々なデータやサービスタイプに対応」「活発に開発・リリースが行われているベンダーの製品」「コストパフォーマンスに優れる」といった条件を満たすツールを採用して処理を任せ、我々の本来のコア業務に注力できる環境を目指したのです。



株式会社インテージテクノスフィア
取締役 企画推進部長
事業戦略室担当
高村 忠 様

製品選定のポイント

信頼できるテクニカルパートナーとしてエアー社 (Talend) を選びました

「様々なデータやサービスタイプに対応」「活発に開発・リリースが行われているベンダーの製品」「コストパフォーマンスに優れる」の条件を満たしたサードパーティのツールに、ETL処理を任せることによって、社内で情報収集を行いつつ、別途「ETLツールの活用」を前提としたデータ活用プラットフォーム構築のコンペティションを実施しました。

実際、ETLツールに期待した具体的な機能の詳細として、「様々なデータソースに“標準で”接続可能であること」、「データ活用プラットフォーム内にビルトイン可能であること」の2点に重点を置いてリクエストしました。エアー社を含め数社から提案を受けましたが、我々が思い描いているデータ活用プラットフォームの要件を理解した上で、TalendをETLツールに据えて活用するという提案であったエアー社は、

- ・Talendが標準で提供する各種コンポーネントを効果的に利用する方法の提示
- ・Talendの管理・運用機能をスクリプト (MetaServlet) で制御する方法
- ・TalendとHadoop、NoSQLテクノロジーとの最適な組み合わせに関する調査と分析
- ・TalendのMap/Reduceジョブデザイナーを使用してHDFS上に格納されたデータを効率的に変換する手法

など、我々が期待する以上の具体的な提案を頂けたため、Talendのライセンス購入とシステムインテグレーションを合わせてエアー社にお願いすることにしました。

ご導入後の効果と今後の展望

プラットフォームの開発工数のみならず作業効率アップでランニングコストの低減を見込む

現時点で「データ活用プラットフォーム」は本番運用に至っておらず、検証・試験運用の段階での評価となりますが、ETLツールとしては分かりやすく、かつ使いやすく、運用システム内にビルトインすることができたので、開発工数としては大幅に削減ができる見込みです。

さらに「データ活用プラットフォーム」が本格稼働した際には、多種多様かつ大量のソースデータが、分析・解析しやすいように整形され、いつでも、また誰でも利用可能な状態でストックされていることとなります。Talendの使い勝手の良いGUIと、複雑なロジックを実装可能にする自由度の高さにより、これまで工数の掛かっていたデータ収集・整形に関わる前処理が、比較的容易な操作で実現できるという感触を既に得ています。

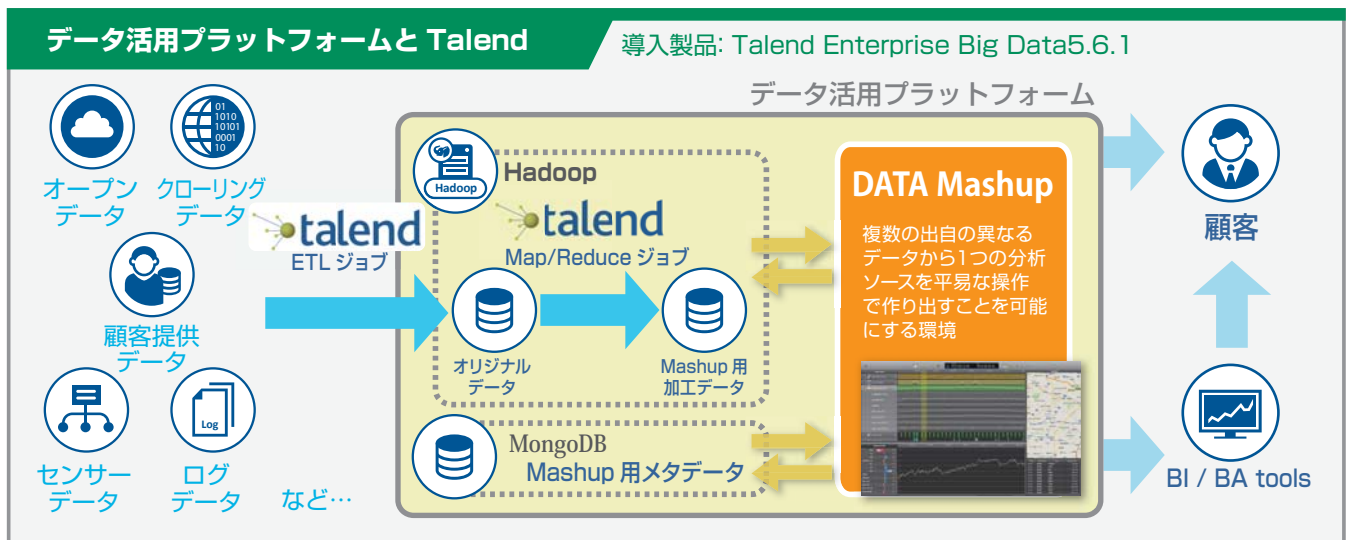
取材：2015年9月



株式会社インテジテクノスフィア
企画推進部 インキュベーショングループ
マネージャー
中川 俊 様



株式会社インテジテクノスフィア
企画推進部 インキュベーショングループ
中村 文洋 様



株式会社インテジテクノスフィア様、ご協力大変ありがとうございました。



株式会社エアー

東京 〒106-0032 東京都港区六本木2-2-8
TEL:03-3587-9221 FAX:03-3587-9238
本社 〒565-0851 大阪府吹田市千里山西5-31-20
TEL:06-6368-6080 FAX:06-6368-6081
URL <http://www.air.co.jp/>